

# おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>  
i-mode <http://www.yaic.gr.jp/i/>

発行: 横浜AIDS市民活動センター  
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地  
尾上町ビル9F  
TEL: 045-650-5421 / FAX: 045-650-5422  
e-mail: info@yaic.gr.jp  
平日: 13:00~20:00 / 土・日・祝: 10:00~17:00  
(火曜日 夜間検査のため休館)  
監修 横浜市健康福祉局

## 12月1日は世界エイズデー



### 世界エイズデーとは?

1988年にWHO(世界保健機構)が世界レベルでのエイズまん延防止として、エイズ患者・HIV感染者に対する差別偏見をなくすことを目標として、12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と決めました。1996年からは国連のUNAIDS(国連合同エイズ計画)がこれを継承し、エイズに対する予防啓発を推進しています。日本では、毎年12月1日前後に、国や都道府県、福祉保健センター(保健所)を設置する市などで、HIVの予防啓発のイベントが開催されます。

### ☆横浜AIDS市民活動センターの世界エイズデーイベント☆

日時: 2008年11月29日(土)  
11:00~17:30  
(時間は状況により変更する事があります)

場所: 新都市プラザ  
(横浜そごう前広場)

▽HIV・AIDSの基礎知識を紹介したパネルを見ながら、素敵なプレゼントが当たるかもしれないクイズ大会や、横浜AIDS市民活動センター内で活動しているボランティア団体がレッドリボン作りや、プラ板アクセサリー作りを実施します。ぜひ、遊びに来てくださいね。



## 夏のイベント報告

### 9月14日 横浜ビーチフェスタ(横浜 海の公園)



有名アーティストによるライブやダンスや横浜で初開催となるビーチサッカー大会などが行われお祭り気分が盛り上がり、用意したパンフレット、グッズなどすべて配布することが出来ました。

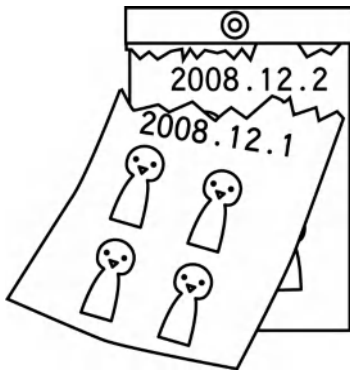
### 9月22日 Bay Side Yokohama & Magic



毎年恒例のクラミジア無料検査を実施しました。おかげさまで、男性35人、女性15人、計50人の方に検査を受けて頂きました。

今年は早い段階で予定人数が終了し検査終了後も「検査を受けたいんですけど…」という方が続出しました。

## 1日約4人



2007年の日本国内の新規HIV感染者の数（エイズ患者も含む）は1500件で過去最高になりました。1日あたり約4人の人が感染していることとなります。現在、日本のHIV感染者・エイズ患者数の累計は、約1万5千人にも上りますが、実際は本人が感染していることを知らないということがあるので、この数よりももっと感染者がいるといわれています。

## HIVとエイズの違い

HIVとエイズの違いを知っていますか？HIVとは Human Immunodeficiency Virus（ヒト免疫不全ウイルス）の略称でウイルスの名前です。感染初期に風邪に似た症状が出る場合もありますが、その後は何も症状がありません。その間にも、ウイルスは体の中の免疫を長い年月をかけて少しずつ破壊していきます。徐々に免疫が低下していっているため、感染している本人には自覚症状がありません。そして、ある程度まで免疫力が落ちると、健康な時にはならないような病気（日和見感染症）に感染してしまいます。この日和見感染症になったときをエイズ発症といいます。※エイズ(AIDS)は Acquired Immuno-deficiency Syndrome（後天性免疫不全症候群）の略称です。



※日和見感染症とは？

健康な人では問題にならないような病原体が原因で発症する感染症(カン

# HIV・エイズのこと知ってる？

## HIVにはどうやって感染するの？

HIVは血液、精液、膣分泌液、母乳の中に多く含まれています。これらが粘膜（目、口の中、尿道、直腸（肛門）、膣など）や傷口を通じて体内にはいると感染する危険があります。感染の原因となる行為は、性的接触による感染、血液による感染、母子感染です。ですから、日常生活の中では感染しません。

## 感染すると治ることのないHIVには予防が大切！

現在、エイズの発症を遅らせる薬はありますが、HIV・エイズを完全に治す薬はありません。ですから、感染しないように予防することが大切です。

## 予防とは！

- ①性的接触をしない！
- ②性的接触の時には正しくコンドームを使用すること。  
(ただし、100%感染を防ぐわけではないです)  
コンドームの正しい使用方法はここを見てね↓  
<http://www.yaic.gr.jp/condom>
- ③自分とパートナーともに検査を受けること。



## HIVの怖いところ

HIVは感染直後に発熱、筋肉や関節の痛み、食欲不振、頭痛、倦怠感（疲れてだるいこと）など風邪に似た症状がでることがありますが、HIVに感染したからといってすべての人が症状がでるといわけではありません。もし、症状が出てもただの風邪かと勘違いしがちです。このため、感染しても本人が気づかず病気が進行してしまう恐れがあるのです。最近では、エイズ発症まで本人が気づかないといった「いきなりエイズ」といわれるパターンが多くなっています。



気付かぬ間に、ウイルスが増え、病気は進行しているのです。

## 検査を受けることの重要性

HIVに感染しても自覚症状がないため、本人は感染していることに気づきません。では、どうやってHIV感染しているか判断するのでしょうか？HIVに感染しているかどうかは、ズバリ検査をしないと分かりません。ですから、検査を受けるということが、いかに大切かということなのです。

HIV検査は全国の保健所などで無料・匿名で受けられ、平成19年に全国の保健所（横浜市は福祉保健センターといわれているところです。）等で行われたHIV検査の数は128,819件にもなりました。匿名なので、名前や住所などを聞かれることはありませんので、安心して受けられます。検査は1週間程度で結果が分かるものと、その日に分かる即日検査（迅速検査）があります。検査結果は、直接本人に伝えられます（※郵送、電話などでは結果は伝えません）。

もちろん、保健所等以外でも病院でも検査を受けることができます（ただし、有料になります）。

すぐに結果がほしい人は

土、日曜日しか行けない

即日検査  
（迅速検査）

夜間検査

土、日曜日  
検査

昼間は学校、仕事がある

全国の検査の案内はここを見てください→<http://www.hivkensa.com>

※横浜市では、12月3日（結果説明12月10日）に、かながわ県民センターでイベント検査があります。詳しくは市のホームページで。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/>

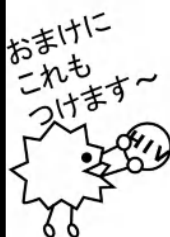
## HIVには早期発見、治療が大事なんです。

HIVに感染した場合、早期発見し、エイズを発症しないように治療することが大切です。しかし、感染しても自覚症状がないため感染したかどうか気づきにくいのです。そのためにも、検査を受けることが重要です。



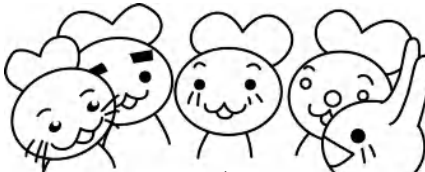
12月1日は世界エイズデーです。この日に合わせて日本全国で、HIV・エイズについて正しい知識を知ってもらおうと啓発活動を行います。今回のおーぷんでは、HIV・エイズがどういう病気か、なぜ問題となっているのかを紹介します。これを機会に、HIV・エイズについて考えてみませんか？

## HIV・エイズに感染する確率が高くなるって知ってた！



性感染症はHIV・エイズ以外にも性器クラミジア、性器ヘルペス、淋病、梅毒などの様々な性感染症がありますが、HIV・エイズ以外の性感染症だったらたいしたことないんじゃないかと思っている人も少なくありません。これらの性感染症に感染していると患部が炎症を起こしていたり、傷ができていたりするので、HIV・エイズに感染する危険性が高く、健康な状態と比べると、3~5倍、高くなるといわれています。

## 1人で悩まないで！



HIV・エイズについて不安なことや悩みがあったら、1人で悩まないでくださいね。専門機関などでは電話相談を実施しています。なにか悩んでることがあったら気軽に利用して下さいね。

電話相談先リストはここを見てください

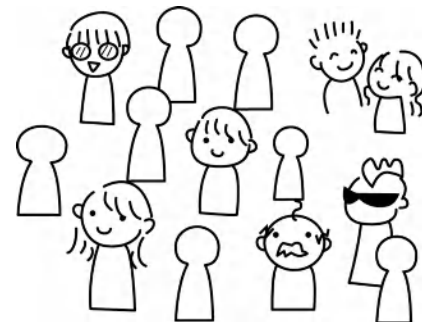
<http://www.yaaic.gr.jp/link/aids-tel/index.html>

インターネットが見られないという方は

横浜AIDS市民活動センターにお問い合わせしていただければ、電話相談先をご紹介します。

※横浜AIDS市民活動センターでは、電話相談先のご案内のみで、ご相談は受けつけません。

## だれにでも感染する可能性はあるということを忘れずにいてね！

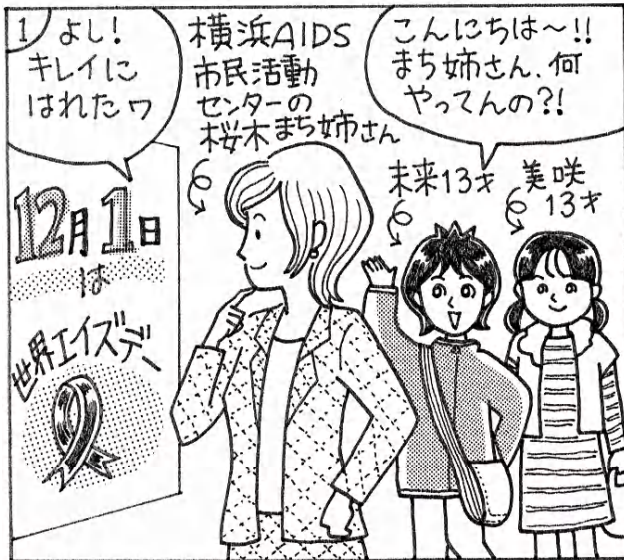


「自分のまわりではHIVに感染したという人がいないから、自分には遠い存在に感じる…。やっぱりHIVは特別な人にしか感染しないんじゃないの」と思っている人も少なくはないと思います。しかしHIV感染は人を選んでいくワケではありません。予防をしなければ、誰にでも感染する可能性があります。自分だけは大丈夫とは思わずに、しっかり予防しましょうね！

# ☆新・教えておねえさん〜尾上家編〜☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まねえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。  
横浜市立瀬谷中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



### “12月1日は世界エイズデー”

世界規模でのエイズ蔓延防止、エイズ患者や HIV 感染者に対する差別、偏見の解消を目的として、1988年に WHO（世界保健機関）によって定められた記念日です。エイズへの理解と支援を示すシンボルとしてレッドリボンがあります。